

APPLE プラットフォーム向けのプライベートなポッドキャストプレイヤー

MuteCast ハンドブック

検出を理解し、スキップ対象を選び、MuteCast に学習させる



割り込みではなく、ポッドキャストを聴こう。

MuteCast は購読、オフライン再生、文字起こし、デバイス上の分析を一つにします。検出した箇所のうち自動スキップを許可するものを、ポッドキャストごとに選べます。

このハンドブックで分かること

- ✓ 基本分析とオーディオ検証の仕組み
- ✓ タイムラインの色が示すもの
- ✓ 繰り返される広告と自己宣伝の学習方法
- ✓ iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、CarPlay の連携方法

MuteCast アカウント、追跡 SDK、サーバー上のエピソード分析はありません。

章のリンクから目的のトピックへ直接移動できます。各ページにも、この目次へ戻るリンクがあります。

03	MuteCastの考え方	3	04	3分で準備	4
05	ポッドキャスト学習	5	06	ローカル検出の仕組み	6
07	ポッドキャストごとの設定	7	08	プレーヤー、タイムライン、Auto-Skip	8
09	聴きながら MuteCast に学習させる	9	10	長い広告枠：推測せず延長する	10
11	誤りを修正して学習を管理する	11	12	Macならではの機能	12
13	iCloudで同期されるもの	13	14	1つのMuteCast、5つの画面	14
15	Apple Watch	15	16	文字盤のコンプリケーション	16
17	CarPlayで安全に箇所をマークする	17	18	iPhoneとiPadのMessagesでMuteCastを使う	18
19	フィード、ダウンロード、並び順	19	20	無音を短縮して節約時間を確認	20
21	自動スキップを確認・取り消す	21	22	文字起こしを検索して引用を共有	22
23	通知の仕組みを把握	23	24	音楽を操作し、デバイス用プレイリストを選ぶ	24
25	広告検出を理解して改善する	25	26	キュー、同期、プライバシー、ヘルプ	26

初めて使う方におすすめの順序

「MuteCastの考え方」から始めて、「クイックスタート」、「ポッドキャスト学習」、「聴きながら MuteCastに教える」の順にお読みください。

この版で説明する操作経路に従ってください。以前の iPhone・Mac のナビゲーション画面は省略し、残りの図は個々の操作を説明するために使用しています。

表示されたセグメントが、そのまま学習済みパターンや自動スキップになるわけではありません。MuteCastは5つの段階を分け、ユーザーが操作を管理できるようにしています。

1. 時刻付き文字起こし

配信者が提供したテキスト、保存済みテキスト、またはデバイス上で生成したテキストを、発話と再生位置に結び付けます。

2. 検出されたセグメント

チャプター、文字起こしの表現、構成、既知の挿入、修正、およびローカル音声がある場合の音声情報から、候補範囲を作成します。

3. マークまたは修正

4つのボタンまたは文字起こしから、イントロ、アウトロ、広告、自己宣伝をマークできます。

4. 学習された根拠

同じポッドキャストの今後のエピソードで、一致するテキストを再利用できます。位置に基づく傾向には、整合する複数の修正が必要です。全ポッドキャスト共通の学習は行いません。

5. Auto-Skipの判断

有効なセグメント種類のうち、再生ポリシーを満たすものだけをスキップします。表示されていても、不確実または根拠の弱い候補はジャンプせずタイムラインに残る場合があります。

重要な4つの用語

検出済み

MuteCastが候補となるセグメントを見つけ、表示しています。

マーク済み

4つのボタンまたは文字起こしから、イントロ、アウトロ、広告、自己宣伝をマークできます。

学習済み

そのポッドキャスト固有の根拠を、今後のエピソードで再利用できます。

自動スキップ済み

すべての安全確認を通過した後、実際に再生位置が移動しました。

MuteCast

音声検証はローカル音声がある場合にのみ実行されます。不確実なセグメントが自動的にスキップされることはありません。

新しいエピソードは、ダウンロード、文字起こし、分析を終えると最も便利になります。MuteCast は自動で準備でき、キューに正確な状態が表示されます。

1. ポッドキャストを追加

番組を検索するか RSS フィードを追加します。購読すると新しいエピソードが自動で見つかります。

2. ルールを設定

初回起動時は、利用可能な場合に Apple Intelligence、画面移動時の一時停止、新規購読の Auto-Skip を有効にします。既存のオフ設定は変更しません。

3. エピソードを準備

すぐにストリーミングするか、オフライン再生用にダウンロードします。ローカルファイルがあれば完全な文字起こしとオーディオ検証が可能です。

4. キューを確認

文字起こしの後に基本分析、続いてオーディオ検証が行われます。進捗と一時停止は別々に表示されます。

5. 再生を開始

色付きタイムラインに検出箇所が表示されます。MuteCast は、有効にした種別のうち安全確認を通過したものだけをスキップします。

おすすめの初期設定

まず広告と自己宣伝を有効にします。数本を確認してから他のセグメント種別を追加してください。

MuteCast が知っていることと次に何をすべきか

MuteCast は各ポッドキャストを個別に学習します。1つのエピソードを準備し、アプリがサポートを必要とするときにブロックをマークし、結果が適切であれば自動スキップを有効にします。

ポッドキャスト学習

ポッドキャスト学習カードには、検出と自動スキップがアクティブかどうか、現在のエピソードの準備ができているかどうか、MuteCast がすでに認識している繰り返しパターンの数が表示されます。

あなたのマーキング

プレーヤーは、マークされてスキップされた実際の継続時間を確認します。

なぜこれがスキップされたのでしょうか？

手動マークまたは自動スキップの後、[Why?] を選択します。プレーヤーの中で、MuteCast は、その決定のソース、信頼度、時間範囲、および制限を示します。

元に戻す

自動スキップによって実際のコンテンツが削除された場合は、プレーヤーのフィードバックで [元に戻す] を選択してください。再生はスキップ前のポイントに戻り、MuteCast は将来の学習用のコンテンツとしてセグメントを記録します。

自動スキップは、着地点から 20 秒間再生が続いた場合にのみ成功が確認されたものとしてカウントされます。「元に戻す」はその成功を取り消し、修正を記録します。

MuteCast は一つのキーワードだけに頼りません。複数の根拠を組み合わせ、結果をエピソードと共に保存します。

文字起こしと構成**初期分析****オーディオ検証****再生ポリシー****文字起こしと構成**

タイムスタンプ、番組メモ、チャプター、言語上の手掛かりから、境界候補や商業表現を探します。

初期分析

テキストパターン、エピソード構成、ポッドキャスト固有の修正から候補セグメントを作ります。

オーディオ検証

ローカルの音声学習により、同じポッドキャストの後続エピソードで繰り返されるアウトロ音楽を認識できる場合があります。ダウンロード済みのエピソードと、10秒以上のマークした範囲が必要です。イントロとアウトロの自動スキップには引き続き境界の保護が適用されます。

再生ポリシー

表示された結果も、確信度、根拠、設定を再確認してから Auto-Skip が許可されます。

検出は補助であり、保証ではありません

番組の表現は変化し、動的に挿入される広告はダウンロードごとに異なる場合があります。重要な結果を確認して誤りを修正すると、同じポッドキャストの後続エピソードが改善します。

設定 > 外観を開き、システムに従う、ライト、ダークを選びます。iPhoneとiPadでは外観が設定の先頭にあります。横向きでは小型画面がサイドナビゲーションとコンパクトな操作を使用します。現在のセクションを離れず回転でき、プレイヤーには専用領域があります。

広告検出

自動準備を許可し、認識したセグメントを表示します。

検出セグメントをスキップ

選んだ種別の Auto-Skip を有効にします。目印だけ必要ならオフにしてください。

セグメント種別

広告、自己宣伝、寄付のお願い、イントロ、アウトロを個別に選びます。

再生速度

このポッドキャストの快適な既定値を選びます。プレイヤーで一時的に変更もできます。

タイムラインの色

広告

第三者による商業メッセージ

自己宣伝

番組や配信者自身の宣伝

寄付のお願い

会員登録や寄付の依頼

イントロ

本編前の導入

アウトロ

本編後の締めくくり

不確実

自動スキップには根拠が不足

細い色付き線はエピソード全体の地図です。白い印が現在位置、色付き部分が検出セグメントです。



セグメントをタップ

文字起こしの色付きラベルが読みやすくなり、一時停止中やマーク中でも読む位置を保ちます。

表示されても自動とは限りません

色付きマーカは検出結果であり、自動スキップが実行された証拠ではありません。選択したカテゴリ、判断材料、スキップ履歴を確認してください。

操作するのはあなたです

チャプター、スライダー、15秒戻る、30秒進むをいつでも使えます。Auto-Skip はセグメントの先へ移動するだけで、音声は削除しません。

デバイス間の連携

再生位置と設定は iCloud で同期できます。ダウンロードは端末内に残り、別の端末では独自の分析が必要な場合があります。

色付きセグメントがスキップされない場合

自動スキップには、このポッドキャストの検出、Auto-Skip、該当カテゴリが有効である必要があります。自己宣伝と寄付の呼びかけは別のカテゴリです。手動マークはすぐに移動できますが、そのカテゴリの以後の自動スキップを有効にはしません。マーカがあっても移動しない場合は、情報源と説明を確認してください。

エピソードを開き、読めるタイムスタンプ付き文字起こしを読み込んでください。現在位置に対応するテキストブロックが必要ですが、文字起こし全体の完了は不要です。見つからない場合は「文字起こしを作成」を選び、キューを確認します。「分析完了」の表示だけでは、テキストブロックが利用できるとは限りません。4つのボタンまたは文字起こしから、イントロ、アウトロ、広告、自己宣伝をマークできます。

広告

自己宣伝

イントロ

アウトロ

広告

第三者による商業メッセージ

自己宣伝

番組や配信者自身の宣伝

イントロ

本編前の導入

アウトロ

本編後の締めくくり

操作の場所

iPhone と iPad : タイムラインのすぐ下

Mac : エピソードプレーヤーと常設ミニプレーヤー

Apple Watch: 広告 / 自己宣伝 / イントロ / アウトロ

CarPlay: 「その他」を開く > テキストパターンをマーク

文字起こしの吹き出しを長押しすると、その部分を広告、自己宣伝、イントロ、アウトロのパターンとして保存できます。設定でパターンを確認、編集、読み込み、書き出しできます。

30秒を大きく超える広告枠もあります。MuteCast は繰り返すユーザースキップを、伸びていく一つのポッドキャスト固有パターンにします。

広告
0 s

+30
≤ 10 s

+30
≤ 10 s

+30
≤ 10 s

1. 現在のブロックをマーク

赤または黄色の操作をタップします。学習する商業範囲の開始点になります。

2. 10秒以内にもう一度進む

商業内容が続くなら再度 +30 を押します。MuteCast は別パターンを作らず、同じ修正を延長します。

3. 必要なら繰り返す

ローリング10秒枠内の +30 は同じブロックを延長でき、数分の広告枠にも対応します。

4. 安全なら MuteCast に早く止めさせる

30秒先より前に本編へ戻る確かな手掛かりが文字起こしにあれば、MuteCast はそこに移動できます。

学習される内容

保存する修正は確認済み範囲全体を覆います。冒頭、中間、末尾の代表表現を再利用可能な根拠にし、本編へ戻る部分はパターンに含めません。

後方移動、スライダー操作、チャプターやエピソードの変更、10秒枠の終了で連続操作は終わります。自動スキップが延長することはありません。歌詞の認識が誤っていても、ローカル音声からイントロとアウトロの音声を学習できます。30秒の追加延長は広告と自己宣伝に適用され、イントロとアウトロのマークには確認済みの範囲を使用します。

修正は学習サイクルの一部です。誤りに気付いた画面に合う方法を選んでください。

Auto-Skipを取り消す

プレイヤーのフィードバックで「取り消す」を選びます。再生位置がセグメントの先頭に戻り、スキップ成功の記録が取り消され、その箇所がコンテンツとして保存されます。

iPhoneまたはiPadでエピソード分析を修正する

検出結果の行で「広告として」または「コンテンツとして」を選びます。別の種別や任意の時間範囲には「修正を追加」を使います。

学習済みテキストパターンを取り消す

文字起こし内の該当テキストを押して「取り消す」を選びます。MuteCastは、学習したテキストパターンまたはバリエーションと、現在のエピソードでの確認を削除します。

既知の挿入を管理する

「設定 → 既知の挿入」で、テキストパターンの編集、無効化、読み込み、書き出し、削除ができます。削除しても、過去のエピソード修正は消えません。

履歴を削除せず学習動作を止める

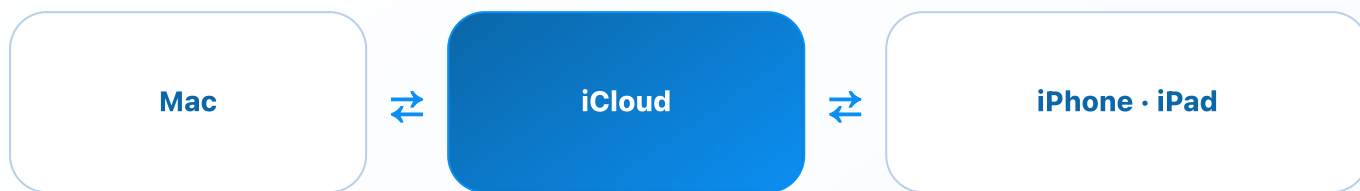
そのポッドキャストのAuto-Skipまたは検出をオフにします。位置に基づく反復パターンには現在、個別の削除リストがありません。「既知の挿入」で管理できるのはテキストパターンだけです。

Macでは「取り消す」を含むAuto-Skipフィードバックと「既知の挿入」の管理を利用できますが、iPhoneやiPadと同じエピソード分析の修正シートはありません。

MuteCastは、それぞれのAppleデバイスの長所を生かします。ポッドキャストに関する同じ知識を引き継ぎながら、大容量のメディアファイルは各デバイスで自分の管理下に置けます。

- ✓ ネイティブでサイズ変更可能なデスクトップアプリに、サイドバー、ライブラリ、文字起こし、分析、常時表示できるミニプレイヤーが統合されています。
- ✓ 4つのボタンまたは文字起こしから、イントロ、アウトロ、広告、自己宣伝をマークできます。Controlキーを押しながら文字起こしのブロックをクリックすると、テキストを広告、自己宣伝、イントロ、アウトロのパターンとして保存できます。設定でパターンを確認、編集できます。
- ✓ Macでは、OPMLによる購読の読み込みと書き出し、既知の挿入部分のJSONバックアップ、System/Light/Dark表示、透明度の調整も利用できます。
- ✓ ショートカット：⌘Nでポッドキャストを追加、⌘Rでフィードを更新、⌘Aで広告をマーク、⌘Sで自己宣伝をマーク。

同じApple Accountでサインインした各デバイスで、「設定 → 同期 → iCloud同期」を個別に有効にしてください。同期にはCloudKitを使用するため、少し時間がかかる場合があります。



同期できるもの

- ✓ 購読、キュー、現在のエピソード、保存済みの再生位置
- ✓ ポッドキャストの検出、Auto-Skip、選択したセグメント種別の設定
- ✓ 既知の挿入、修正、検出済みセグメント、学習済みパターン
- ✓ 保存済みの分析結果とその他の小さなライブラリ状態 - 時間集計は確認済みのスキップ、短縮した無音、速度変更による節約を分けて示します。本版では新たな節約だけを計算し、以前の端末合計は移行しません。取り消すと該当スキップ分を差し引きます。

自動では移動しないもの

- ✓ ダウンロードした音声やその他の大きなローカルメディアファイル
- ✓ 1台のデバイスだけで生成した完全な文字起こし
- ✓ Messages拡張内で準備した選択内容
- ✓ 現在再生中のデバイスへの新しい再生位置

- ✓ すべてのデバイスで同じApple Accountを使用し、各デバイスでSettings → Sync → iCloud Syncを個別に有効にします。スイッチを変更した後はMuteCastを再起動してください。
- ✓ CloudKitがデータを交換する時間を取り、Check Syncで読み込みまたは書き出しの成功を確認します。受信した再生位置が、すでに再生中のデバイスを中断することはありません。

MuteCastは約15秒ごと、および重要な切り替わり時に進行状況を保存します。再生が停止していれば、最新の保存位置を別のデバイスで適用できます。

iPhone、iPad、Macがすべての処理を行います。Apple WatchとCarPlayはiPhoneでの操作を制御し、Messagesは意図的に選んだ項目だけを共有します。

機能	iPhone / iPad	Mac	Watch	CarPlay	Messages
ライブラリと再生	すべて	すべて	iPhone経由	iPhone経由	共有のみ
文字起こし	すべて	すべて	利用不可	利用不可	共有のみ
分析とセグメントの状態	すべて	すべて	状態のみ	状態のみ	利用不可
広告 / 自己宣伝 / イン트로 / アウトロ	すべて	すべて	iPhone経由	iPhone経由	利用不可
再生中のAuto-Skip	すべて	すべて	iPhone経由	iPhone経由	利用不可
既知の挿入の管理	すべて	すべて	利用不可	利用不可	利用不可
エピソードまたは現在位置を共有	すべて	すべて	利用不可	利用不可	共有のみ
iPhoneへの接続が必要	このデバイスで実行	いいえ	はい	はい	このデバイスで実行

Watchからのマークには、通信可能なペアリング済みiPhoneが必要です。CarPlayは接続中のiPhoneを介して動作します。Messages拡張はiPhoneとiPadで利用でき、Macでは利用できません。Macでは、現在の再生位置を含むエピソードのリンクが共有されます。

Complicationはひと目で状態を確認するための表示です。マーク操作はWatchアプリ内にあり、更新は秒単位ではありません。また、色付きまたはモノクロの文字盤ではwatchOSが色を調整場合があります。

- ✓ WatchアプリはiPhoneのコンパニオンであり、単独のポッドキャストプレーヤーではありません。ペアリングしたiPhoneでエピソードを開始してから、Apple WatchでMuteCastを開きます。
- ✓ 「iPhoneを待機中」と表示された場合は、iPhoneでMuteCastを開き、接続を確認してください。Watchにはエピソード、チャプター、時間、速度、色分けされたセグメントのタイムラインが表示されます。
- ✓ 15秒戻る、再生 / 一時停止、30秒進む、チャプター操作、Digital CrownによるVolume調整が使えます。赤と黄色のマークには、通信可能なiPhoneと時刻情報付きの文字起こしが必要です。音楽では利用できません。
- ✓ 4つのボタンまたは文字起こしから、イントロ、アウトロ、広告、自己宣伝をマークできます。歌詞の認識が誤っていても、ローカル音声からイントロとアウトロの音声を学習できます。30秒の追加延長は広告と自己宣伝に適用され、イントロとアウトロのマークには確認済みの範囲を使用します。

広告

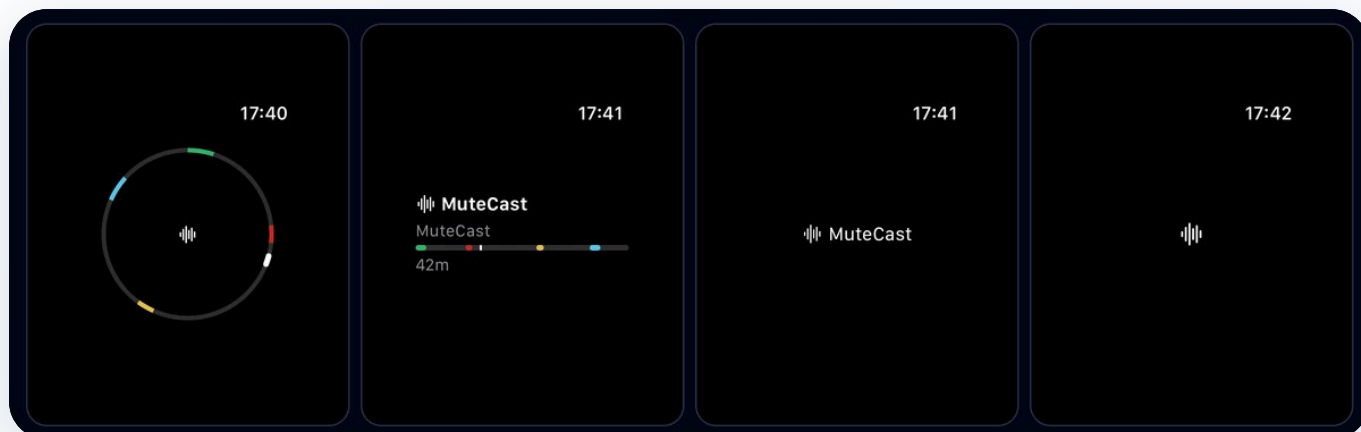
自己宣伝

イントロ

アウトロ

文字盤complicationのファミリー：Circularは再生状態とタイムライン、Rectangularはさらにタイトルと残り時間、Inlineはタイトルまたはセグメントの種類、Cornerはタイムラインゲージを表示します。

コンプリケーションでは再生状況をひと目で確認できます。赤と黄のマーク操作は、Watch上のMuteCastアプリ内で行います。



円形

再生記号、色分けしたエピソードのセグメント、現在位置を1つのリングに表示します。

長方形

エピソード名、ポッドキャスト、残り時間、色付きタイムラインを表示します。

インライン

エピソード名またはアクティブなセグメント種別を1行で表示します。

コーナー

文字盤の角に沿ったエピソードのタイムラインと再生記号を表示します。

更新頻度はwatchOSが決定し、着色またはモノクロの文字盤では色が調整される場合があります。そのためコンプリケーションは秒単位では正確でなく、フルカラーの例と表示が異なることがあります。対応する文字盤では、コンプリケーションを文字盤に配置した後にのみ、watchOSがコーナーのタイムラインを描画します。

CarPlayは、接続中のiPhone上のMuteCastを集中して操作するリモート画面です。検出、文字起こし、学習はiPhoneで行われます。

1. 「その他」を開く

「再生中」でAppleの「その他」ボタンを選びます。追加の操作を並べすぎずに利用できます。

2. テキストパターンをマーク

広告 / 自己宣伝 / イントロ / アウトロ

3. プレイヤーに戻る

CarPlayでイントロとアウトロをマークし、再生アクションから直接プレイヤーへ戻れます。

4. 運転を続ける

iPhoneが修正とパターンを保存します。対象となる今後のAuto-Skipは、約20秒前に通知される場合があります。

時刻付き文字起こしと、接続中のiPhoneの状態が必要です。CarPlayでは、修正シート、既知の挿入の管理、分析設定は利用できません。

Messages拡張はカードを準備しますが、自動送信はしません。エピソード、正確な再生位置、引用、またはおすすめのポッドキャストを送信します。



1. 選ぶ

再生中、最近のエピソード、ブックマーク、引用、またはポッドキャストを選びます。

2. 確認する

プレビューを確認し、選択肢がある場合はエピソードの先頭または保存済み/現在の位置を選びます。

3. 追加する

下書きを会話に追加し、もう一度確認してから、自分で「送信」をタップします。

共有できるもの

再生中 最近再生した項目 現在の再生位置 エピソードの先頭 チャプターとブックマーク 引用 ポッドキャストをおすすめ

MuteCastを開いて、エピソードを再生したり、ブックマークを追加したり、トランスクリプトの抜粋やおすすめのポッドキャストを選択したりできます。

MessagesアプリはMacでは利用できません。準備した項目は同じiPhoneまたはiPad内に保存され、iCloudでは同期されません。共有されるのは選択した項目だけで、履歴と全文の文字起こしは非公開のままです。意図的に選んだ引用は500文字までです。

設計からプライベート

会話に追加されるのは上に表示された項目だけです。再生履歴と全文トランスクリプトは非公開のままです。

ダウンロード済みのエピソードは、アートワーク付きで「マイリスト > ダウンロード済み」にまとめられました。独立した「ダウンロード」タブはありません。エピソード横やキュー内の見える + で次に再生または末尾に追加します。ダウンロードは開始しません。音楽キューは別です。

ポッドキャストを追加

「ポッドキャスト」で、見やすく表示された「+ / フィードを追加」から番組を検索するか RSS フィードを入力します。購読後にフィードを更新すると、新しいエピソードが見つかります。

自動ダウンロードの対象は7日間

購読した番組は自動的に対象となり、独立した自動ダウンロードスイッチはありません。更新後、過去7日間の未再生・未アーカイブの対象エピソードがキューに入ります。以前に見つかった回も含まれます。MuteCast を開き直すと、保留中のフィード更新、ダウンロード、文字起こし、分析を確認します。バックグラウンド実行はシステムに制限されるため、一晩での完了は保証されません。

ネットワークと意図的な削除

「設定 > ダウンロード」で、フィード、ストリーミング、ダウンロードのモバイルデータ通信を個別に設定します。キューで進捗や待機理由を確認し、ダウンロード上限と空き容量も調べてください。許可されたネットワークと処理条件は引き続き適用されます。古い回は手動でダウンロードできます。意図的に削除した回を無限に取り直すことはありませんが、手動で再ダウンロードを依頼できます。

ダウンロード済みエピソードを並べ替える

iPhone・iPad では「マイリスト > ダウンロード済み > 編集」を開き、ハンドルをドラッグします。エピソードが2本以上必要です。Mac では複数選択モードを終了してから移動します。並び順は保存されますが、再生キューは別に管理されます。

この任意のポッドキャスト機能は、会話の長い間を短くします。音楽には作用しません。

全体のスイッチを有効にする

「設定 > 再生 > 無音を短縮」を開きます。初期状態ではオフです。有効にした後は、聴き慣れたエピソードで確認してください。

特定のポッドキャストを除外

ポッドキャストの設定を開き、「このPodcastの無音を短縮」をオフにします。この項目は全体のスイッチを有効にすると操作できます。Voice Boost と自動スキップも同時に使用できます。

時間収支を確認

時間集計は確認済みのスキップ、短縮した無音、速度変更による節約を分けて示します。本版では新たな節約だけを計算し、以前の端末合計は移行しません。取り消すと該当スキップ分を差し引きます。

自動スキップ履歴はこのデバイスに保存されます。「設定」で全体の履歴を、エピソードの分析詳細でその回の履歴を確認できます。

判断の理由を知る

プレイヤーが移動先を確認した後にのみスキップ成功として記録します。履歴には時刻、元の範囲、ラベル、信頼度、情報源、説明が含まれます。割合や色付きマーカーだけでは移動の証拠になりません。

後から取り消す

履歴で「元に戻す」を選ぶとエピソードを読み込み、元の位置に戻ります。対応する節約時間も取り消されます。音声自体は削除されていません。

ラベルを修正

「修正」で分類を変更します。関連する学習済みの証拠は、同じポッドキャストの次回.analysisに使われます。他の番組や既存の全エピソードへ無差別に適用されるわけではありません。

iPhone、iPad、Mac のメインナビゲーションで「文字起こし」を開き、検索語を入力します。

話された言葉を探す

検索対象はエピソード名だけでなく、利用可能な文字起こしの本文です。文字起こしがない場合は、先にエピソードを準備または分析してください。検索語が空のときに一覧は表示されず、1回の検索で最大200件を返します。

検索結果の位置から聴く

各結果にはポッドキャスト、エピソード、タイムスタンプが表示されます。再生操作で、その箇所からエピソードを開けます。

音声クリップではなくテキストを共有

独立した「共有」操作では、引用テキストとエピソードのリンクを送ります。引用は、読者が1文字と認識する単位で500文字までです。全文の文字起こしを共有したり音声クリップを作ったりする機能ではなく、文字起こしの新たな同期も行いません。

「ポッドキャスト設定 > 通知」は、新しいエピソード、ダウンロード完了、全体分析完了の通知をまとめて制御します。

必要なときに許可する

システムの許可要求は、初めて購読が正常に保存された後に表示されることがあります。アプリ起動時には表示されません。ポッドキャスト設定の「通知を許可」からも要求できます。一度拒否した場合はシステムの「設定」を開いてください。

番組ごとに選ぶ

新しい購読では通知スイッチがオンから始まります。以前のデータから移行した購読ではオフの場合があります。通知が不要な番組はオフにしてください。

通知からエピソードを開く

通知をタップすると関連するエピソードが開きます。これは MuteCast が発見や処理を終えた後のローカル通知であり、サーバーから即時に届くプッシュ通知ではありません。バックグラウンドやネットワークの制限により、発見、ダウンロード、通知が遅れる場合があります。

「ミュージック」で音楽へのアクセスを許可します。すでに許可済みのライブラリはバックグラウンドで準備されますが、初回アクセスや更新には時間がかかる場合があります。音楽へのアクセスが拒否された場合は表示された設定操作で許可します。ポッドキャストとマイリストには引き続きアクセスできます。許可だけでは音楽は再生されません。

フルプレーヤーを開く

「ミュージック」またはミニプレーヤーで現在の曲をタップします。前へ・次へ、再生・一時停止、ドラッグできる再生位置バーを使えます。「次に再生」とキューを確認できます。シャッフルに加え、リピートはオフ・1曲・キューから選べます。

ブラウズと再開

曲、アルバム、アーティストには並べ替えメニューがあります。再生設定とナビゲーション位置は保存されます。更新中も既存のライブラリ内容は利用でき、再生できない曲には理由が表示されます。必要に応じて表示された「設定」や「再試行」を使ってください。

iPhone でプレイリストを固定

「ミュージック > プレイリスト」で「Apple Watchと車内に表示」を選びます。最大10個を固定でき、残りの枠は再生履歴や最近の内容に応じて埋まります。固定しても Watch に音楽がダウンロードされるわけではなく、Watch 単独での再生も有効になりません。

CarPlay を安全に使う

音楽画面から「再生中」と音楽キューに直接アクセスでき、前へ・次へ、シャッフルを操作できます。操作対象は、その時点で有効な音楽またはポッドキャストです。プレイリストは駐車中に設定してください。利用できる機能は曲、接続、車両によって異なります。

色付きマーカーは検出結果であり、自動スキップが実行された証拠ではありません。選択したカテゴリ、判断材料、スキップ履歴を確認してください。

実際の発言と配信されたテキストを比較

利用できる場合、MuteCast は端末で音声から作成した文字起こしを配信者の文字起こしと比較します。追加の発言は挿入広告の判断材料になり得ますが、文字起こしの違いだけでは確定できません。

スポンサー情報を活用

ショーノートと、明示的にリンクされた Linktree のスポンサープロフィールが文脈を補います。アクセスにはネットワーク接続が必要です。名前だけでは不十分で、発言に対応する商業的な根拠が必要です。あなたの文字起こしをこれらのページへ送信することはありません。

区間の境界を確認

自動検出の導入部は冒頭付近、締めくくりは末尾付近が対象です。広告、自己宣伝、寄付の呼びかけは途中にも現れます。内容が混在するテキストブロックを確認し、本編の発言が学習する広告区間に含まれないようにしてください。

修正して再確認

文字起こしや区間の詳細でラベルまたは範囲を修正します。学習したパターンは同じポッドキャストに適用されます。必要に応じて再分析し、結果を確認してください。誤った自動スキップはスキップ履歴で取り消せます。問題が続く場合は、アプリのビルド番号、エピソード、正確な時刻をサポートへお知らせください。

準備が待機しているように見えるとき

- ✓ 特に iPhone と iPad では、分析よりダウンロードが優先されることがあります。
- ✓ バッテリー残量、バックグラウンド制限、空き容量不足、分析の無効化で処理が一時停止する場合があります。
- ✓ キューを開くと理由、進捗率、「続ける」操作を確認できます。
- ✓ 手動指定や再生中のエピソードは、古い自動処理より優先されます。

iCloud が同期するもの

- ✓ 購読、設定、再生位置、学習パターンは Apple の iCloud で同期できます。
- ✓ 音声ダウンロードとそのローカル状態は、デバイス間で自動転送されません。
- ✓ 大容量または端末生成の文字起こしは端末固有の場合があり、別の端末で独自に分析を準備できます。
- ✓ フィードが変わっても、ダウンロード済みエピソードが知らないうちに置き換わることはありません。

簡単な確認

赤または黄色の操作が使えない

エピソードを開き、読めるタイムスタンプ付き文字起こしを読み込んでください。現在位置に対応するテキストブロックが必要ですが、文字起こし全体の完了は不要です。見つからない場合は「文字起こしを作成」を選び、キューを確認します。「分析完了」の表示だけでは、テキストブロックが利用できるとは限りません。

印は見えるがスキップされない

このポッドキャストの Auto-Skip と対象種別を有効にし、最新の検証を待ってください。

別の端末に分析が表示されない

その端末でエピソードをダウンロードまたは準備してください。音声ファイルは同期されません。

結果が間違っている

エピソード分析で検出されたセグメントを確認します。必要に応じてタイプを修正するか、ポッドキャスト設定を使用して、自動的にスキップできるセグメントタイプを正確に選択します。

設計からプライベート

対応する環境ではエピソード分析を端末上で実行します。MuteCast はアカウント、利用分析、追跡 SDK を使いません。フィード、アートワーク、ダウンロード、配信者提供の文字起こしには通信が必要です。

詳しいヘルプと最新の製品情報：

[サポート](#) [プライバシー](#) support-mutecast@tstange.de